

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 こども保育科 昼間Ⅰ部) 2019年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			英会話Ⅰ	学生の英語学習に対する興味を高くし、海外文化についての理解を深め、コミュニケーションスキルが習得できる。	前1年	45	3	○			○			○	
○			英会話Ⅱ	日常英会話から、保育に必要な英会話が習得できるようになる。	3年	30	2	○			○			○	
○			健康科学	スポーツ活動との関連の中で健康や体力に関する知識が習得できる。	前1年	15	1	○			○			○	
○			生涯スポーツ	各種スポーツの技能向上やスポーツ発展史を学び実践することができる。	前1年	30	1		○			○		○	
○			情報処理入門Ⅰ	Word・Excel・PowerPointなどオフィススイートの基本操作が習得できる。	後1年	45	3		○		○			○	
○			日本国憲法	憲法の基礎知識について学び、法的、論理的に自らの意見を述べる力を身につけることができる。	前2年	30	2	○			○			○	
○			職業人教育Ⅰ	学校行事への企画力や社会人としての基本的マナーを身につけ、対人援助職にふさわし人間性を養う。	通1年	60	4	○			○			○	
○			職業人教育Ⅱ	学校行事への企画力や社会人としての基本的マナーを身につけ、対人援助職にふさわし人間性を養う。	通2年	60	4	○			○			○	
○			職業人教育Ⅲ	学校行事への企画力や社会人としての基本的マナーを身につけ、対人援助職にふさわし人間性を養う。	通3年	60	4	○			○			○	
○			幼児と音楽表現	音楽技術（ピアノ・声楽）の習得や資質の向上を目指すことができる	前1年	15	1		○		○			○	
○			音楽表現技術	音楽技術（ピアノ・声楽）の習得や資質の向上を目指すことができる	2年	15	1		○		○			○	
○			幼児と造形表現	絵画・立体造形・色彩と構成に関する基礎知識と表現技術を学び実践できる。	2年	15	1		○		○			○	
○			教育心理学	心理学の観点から子どもへの関りが理解できる。	前1年	15	1	○			○			○	

○		健康（指導法）	子どもの健康に必要な知識とその指導、援助の技術を習得できる。	前1期年	15	1	○		○		○								
○		人間関係（指導法）	人との豊かなかかわりを育てる保育者としての視点を持つことができる。	前1期年	15	1	○		○		○								
○		幼児と健康	幼児時期の健康に関わる教育・保育内容とその方法が習得できる。	2年	15	1	○		○		○								
○		造形表現（指導法）	幼児の造形の発達に関する内容や実践的な表現活動の研究・適切な援助・教育が習得できる	前1期年	30	2	○		○		○								
○		音楽表現（指導法）	手あそび・リズムあそびなどの音楽表現を実践できるようになる。	前1期年	15	1	○		○		○								
○		環境（指導法）	子どもの自然とのかかわりを深める保育の実践的指導能力が習得できる。	前1期年	15	1	○		○		○								
○		幼児の心理学	心理学の視点から子どもへの関りを理解できるようになる。	後1期年	15	1	○		○		○								
○		言葉（指導法）	言葉の理論を理解し、子どもの言葉をはぐくむ実践力を身につけることができる。	後1期年	15	1	○		○		○								
○		社会福祉	社会福祉の歴史的展開を把握し、今後の課題について展望することができる。	前1期年	30	2	○		○		○								
○		子ども家庭福祉	現在の児童家庭福祉に関する理解を深めることができる。	2年	30	2	○		○		○								
○		保育原理	保育の意義や思想、歴史的変遷を理解し、他者に伝えられるようになる。	2年	30	2	○		○		○								
○		社会的養護Ⅰ	社会的擁護の現状および課題について理解し、自分の考えや意見を述べるができる。	前1期年	30	2	○		○		○								
○		社会的養護Ⅱ	児童養護施設における目的と機能、擁護プログラムの展開、児童処遇について理解できる。	2年	15	1	○		○		○								
○		子ども家庭支援論	家庭や地域社会への援助の必要性とその方法を学び、実践に繋ぐことができる。	2年	30	2	○		○		○								
○		教育原理	教育に関する歴史や諸問題を学び、様々な視点から教育について考える力を習得できる。	前1期年	30	2	○		○		○								
○		障害児保育	子どもの心身、脳の発達、知的・身体的障害について理解を深め、障害児の保育的援助を習得できる。	2年	15	1	○		○		○								

○		教育実習事前 事後指導	幼稚園の機能や内容、教育実習の目的や意義 を理解し、現場で発揮できる。	2 年	15	1	○			○			○	
○		教育実習Ⅰ	幼稚園で見学・観察・参加・指導実習を行 い、保育力を習得することができる。	2 年	80	2				○			○	○
○		教育実習Ⅱ	幼稚園で見学・観察・参加・指導実習を行 い、保育力を習得することができる。	3 年	80	2				○			○	○
○		児童文化	子どもにとっての遊びを豊かに展開するた めに必要な知識や技術を習得できる。	3 年	30	2	○						○	○
○		乳児保育Ⅰ	3歳未満児の成長発達・保育の内容・実践の 方法を習得できる。	2 ・ 3 年	60	4	○						○	○
○		乳児保育Ⅱ	3歳未満児の成長発達・保育の内容・実践の 方法を習得できる。	3 年	15	1	○						○	○
○		子どもの健康 と安全	子どもの生命と健康を守るために実践力を身 につけることができる。	3 年	15	1	○						○	○
○		保育実習事前 事後指導Ⅰ (保育所)	保育所実習を円滑に行うために必要な事柄を 学習し、実習で発揮できる。	2 年	15	1	○						○	○
○		保育実習Ⅰ (保育所)	保育現場において生きた保健技術を習得す ることができる。	2 年	80	2				○			○	○
○		保育実習事前 事後指導Ⅰ (施設)	施設実習を円滑に行うために必要な事柄を学 習し、実習で発揮できる。	3 年	15	1	○						○	○
○		保育実習Ⅰ (施設)	施設擁護に関わる職務・役割を実践的に学 び、技術を習得することができる。	3 年	80	2				○			○	○
○		保育実習事前 事後指導Ⅱ	保育実習を円滑に行うために必要な事柄を学 習し、実習で発揮できる。	3 年	15	1	○						○	○
○		保育実習Ⅱ	保育実習Ⅰで学んだことを実践に繋げ、技術 の向上をはかることができる。	3 年	80	2				○			○	○
○		卒業制作	各自でテーマを設定し、課題に取り組みプレ ゼンテーションができる。	通 3 年 年	60	4				○			○	○
○		ピアノ基礎Ⅰ	楽譜の読み方や、弾き方などピアノの基礎的 な技術を身につけることができる。	通 1 年 年	60	4				○			○	○
○		ピアノ基礎Ⅱ	楽譜の読み方や、弾き方などピアノの基礎的 な技術を身につけることができる。	通 2 年 年	60	4				○			○	○

○		ピアノ応用	子どもの歌や簡単な伴奏法を身につけ応用できるようになる。	通3年	60	4		○	○	○				
○		保育教材研究Ⅰ	子どもの成長に相応しい教材を知り、制作や実践を通じて保育力の基礎を身につけることができる。	通1年	60	4		○	○	○				
○		保育教材研究Ⅱ	子どもの成長に相応しい教材を知り、制作や実践を通じて保育力の基礎を身につけることができる。	通2年	60	4		○	○	○				
○		ふれあい実習Ⅰ	学生が主体となり実際に子供と関わることで、実践的な保育力の基礎を身につけることができる。	通1年	60	4		○	○	○				
○		ふれあい実習Ⅱ	学生が主体となり実際に子供と関わることで、実践的な保育力の基礎を身につけることができる。	通2年	60	4		○	○	○				
○		ふれあい実習Ⅲ	学生が主体となり実際に子供と関わることで、実践的な保育力の基礎を身につけることができる。	通3年	60	4		○	○	○				
○		実習プレ	実習に向けて、実習日誌の書き方から指導案の作成など、必要な知識と技術の習得ができる。	通2年	60	4		○	○	○				
○		保育ゼミ	様々な保育現場で役立つ知識と技術を身につけることができる。	前3期年	60	4		○	○	○				
○		各種特化科目Ⅰ	ベビーマッサージや小児鍼など自然療法の知識を学び保育ケアを習得できる。また社会的養護領域に関する知識・技術を身につけ発揮できるようになる。	後1期年	45	3		○	○	○				
○		各種特化科目Ⅱ	病児・病後児の現状について理解を深め、保育方法を習得できる。幼児の発達や幼児の救急救命などの知識を学び、実践できるようになる。	2年	90	6		○	○	○				
○		各種特化科目Ⅲ	レクリエーション支援の方法やリズム遊びを通じてコミュニケーションの取り方を実践から学び、保育者としての主体的・対話的で深い学びが実現できるようになる。	通3年	225	15		○	○	○				
○		資格取得科目Ⅰ	キャンピングストラクターの資格取得を目指し、安全指導や対人力を習得することができる。	2年	30	2		○	○	○				
○		資格取得科目Ⅱ	資格取得を目指し、子供に対しての体育や運動遊び指導の技術を身につけることができる。	3年	15	1		○	○	○				
合計					74科目		単位時間(174単位 2875時間)							

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
授業科目の成績評価は、学年末において各学期末に行う試験、実習の結果、履修状況等を総合的に勘案して行い、校長は課程修了の認定を行う。		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。